

情報科学部 3年生ガイダンス 教務関連の説明

不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ
kyomu-info2025@m.hiroshima-cu.ac.jp

ガイダンス資料等について

- ガイダンスでは、主に教務関係の重要な部分のみ説明します
- 資料は大学ホームページ右上のメニューより

教育・学生生活 → 履修情報 → 履修登録関係資料

から確認できます。ガイダンス資料以外にも重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。

**産学連携教育やイノベーション人材育成プログラムの
詳細も掲載されているので必ず確認しましょう！**



学生HANDBOOK、学修の手引きとシラバス

- 学生生活に関わることは[大学HP（教育・学生生活）](#)を参照のこと
 - 答えが見つかる場合が多い
 - 卒業するまで必要なのでブックマークしておくが良い
- 同様に、授業や履修に関わることは[学修の手引き](#)に記載されている
- 講義内容は[Web掲載のシラバス（授業概要）](#)で確認できる

各所への
問合せ先も載っている

学生HANDBOOKや学修の手引きは
ウェブ上で24時間いつでも貴方をサポート

学年暦、学期(ターム)、授業時間

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)

前期(4/1 - 9/30)				後期(10/1 - 3/31)									
第1ターム(4/8 - 6/6)		第2ターム(6/7 - 8/8)		第3ターム(10/1 - 11/27)		第4ターム(11/28 - 2/5)							
4/2	4/2 - 4/7	4/8	6/2 - 6/6	6/7	7/29 - 8/8	8/9 - 9/30	9月 下旬	10/1	11/21 - 11/27	11/28	12/27 - 1/4	1/27 - 2/5	2/6 - 3/31
入学式	オリエンテーション	前期・第1ターム授業開始	第1ターム試験期間	第2ターム授業開始	前期・第2ターム試験期間	夏季休業	後期ガイダンス	後期・第3ターム授業開始	第3ターム試験期間	第4ターム授業開始	冬季休業	後期・第4ターム試験期間	学年末休業

土日祝日は原則休みだが、授業を行う日もあるので資料等を確認

履修について

- 履修登録なしで**単位は取れない**（絶対に必要な手続き）
- 1コマあたり**3コマの事前・事後学修が必要**、**詰め込み過ぎに注意！**
- 半期で**上限24単位まで**履修登録可能（推奨：**20単位程度**）
- 集中講義**は、一部でも前期・後期期間に実施される科目は上述の**上限計算にカウントされる**ので注意（休業期間中に実施される科目はカウントされない）

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3/30	3/31	4/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	5/1	5/2	5/3

第2ターム分
も忘れずに

履修登録期間
4/14 17:00 まで

4/10は
履修登録不可！

履修確認期間
4/24 17:00 まで

履修登録と取り消しについて

- **必修科目**は必ず履修（自分のクラスの授業を履修登録）
- 選択科目は自由に選べる（お勧めは初回授業に出てから選択）
- ただし**半期に24単位までしか登録できないので注意！**
- **同じ時間の授業は履修できない！**
- 履修登録後は、**履修取消期間でなければ、登録は取り消せない！**
- 取り消さずに放置すると**全体の成績が下がる**

履修取消期間
(第1ターム科目)
4/24 17:00 まで

日	月	火	水	木	金	土
4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26
4/27	4/28	4/29	4/30	5/1		
4	5	6	7	8		
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

履修取消期間
(前期科目)
5/22 17:00 まで

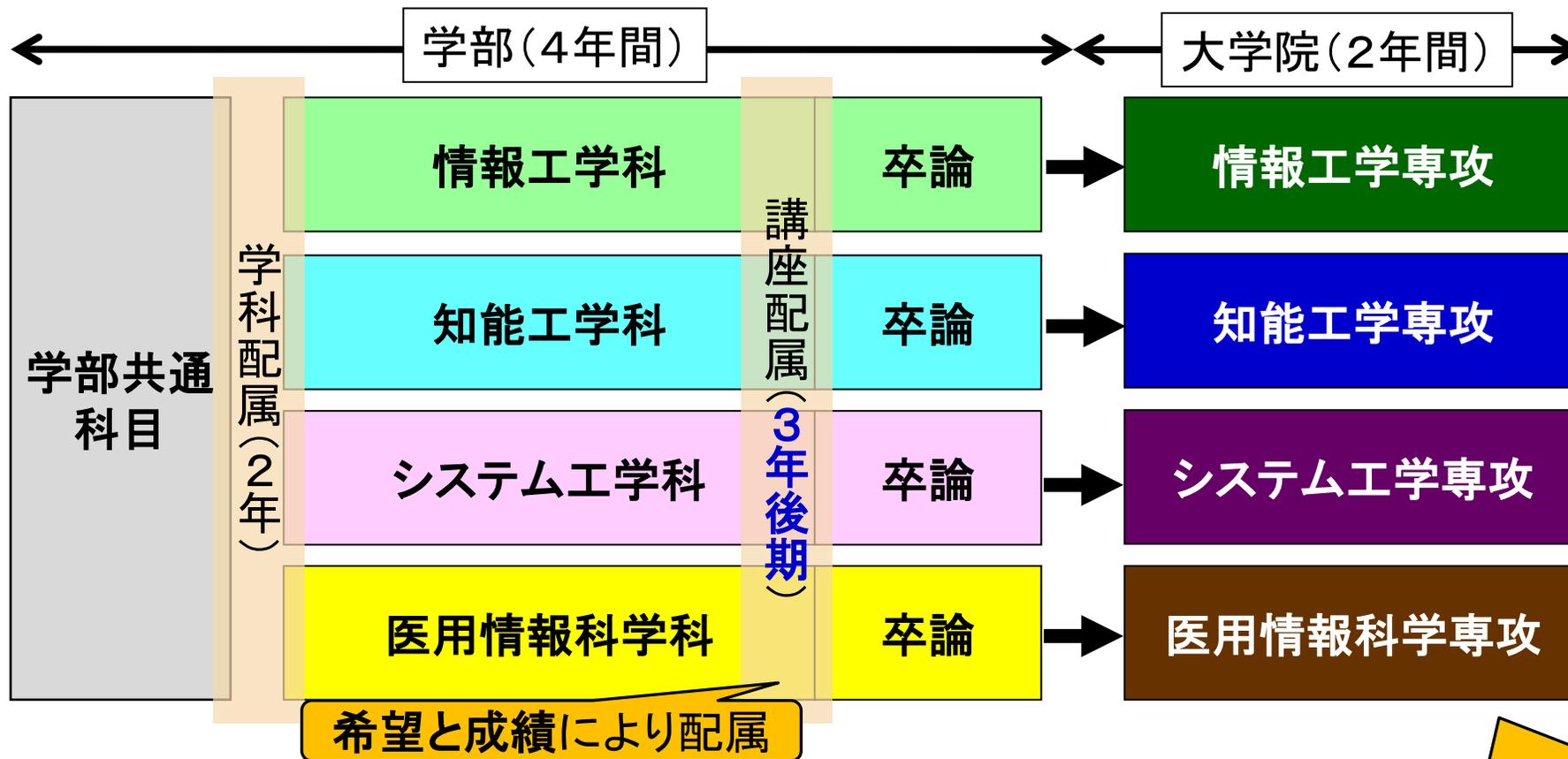
第2ターム科目の取消期間は
6月下旬

各学科ガイダンスで追加説明して欲しい項目

1. 講座配属の早期化について
2. ディプロマ・ポリシーとカリキュラムシークエンスについて
3. **イノベーション人材育成プログラムと飛び級について**
4. **産学連携教育について** 



1. 講座配属の早期化について



総合型選抜入学者とイノベ登録者は3年前期から優先配属（配属方法は各学科で決定）

大学院で、技術者・研究者に求められる知識・技能を更に深く学ぶ（6年間教育）

講座への早期優先配属

- 総合選抜入試での入学者および
- イノベーション人材育成プログラム登録者は
- **3年前期から講座へ優先配属**

一般学生より優先
されるという意味

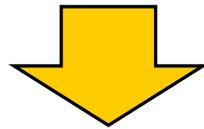
(講座の受け入れ人数制限もあるので、

希望通りの配属になるとは限らないことに注意)

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を確認しよう！

4年間の学びを通じて、身に付けておくべき
能力をまとめたもの
(卒業時の目標)

自分の強みや弱みと見比べ、目標に向け、
高めるべき能力を意識しながら科目を履修
しよう！



就職活動での
アピールポイントになる

2024年度入学生版 学修の手引き p.2

人材育成の目標及び各ポリシー

学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

広島市立大学は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- ① 多様な文化・価値観を尊ぶための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している(知識・技能)
- ② 専門領域に関する体系的な知識・技能を身につけている(知識・技能)
- ③ 発見した問題について論理的に考え、判断することができる(思考力・判断力)
- ④ 自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている(表現力)
- ⑤ 社会的課題の解決には社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している(主体性)
- ⑥ 他者と協働して取り組む姿勢を有している(協働性)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

広島市立大学の学士課程における学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を達成するため、教育課程を次のように編成する。

1. 人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を得るため、全学共通科目を開設する。
2. 多様な文化・価値観に対する理解を深めるのに必要となる外国語によるコミュニケーション能力を養成するため、外国語科目を開設する。
3. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設する。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考し判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

国際学部は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士(国際学)」の学位を授与する。

[知識・技能]

1. 人文・社会科学の知見や理論についての体系的な知識を身に付けている。(知識)
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探求する技能を身に付けている。(技能)

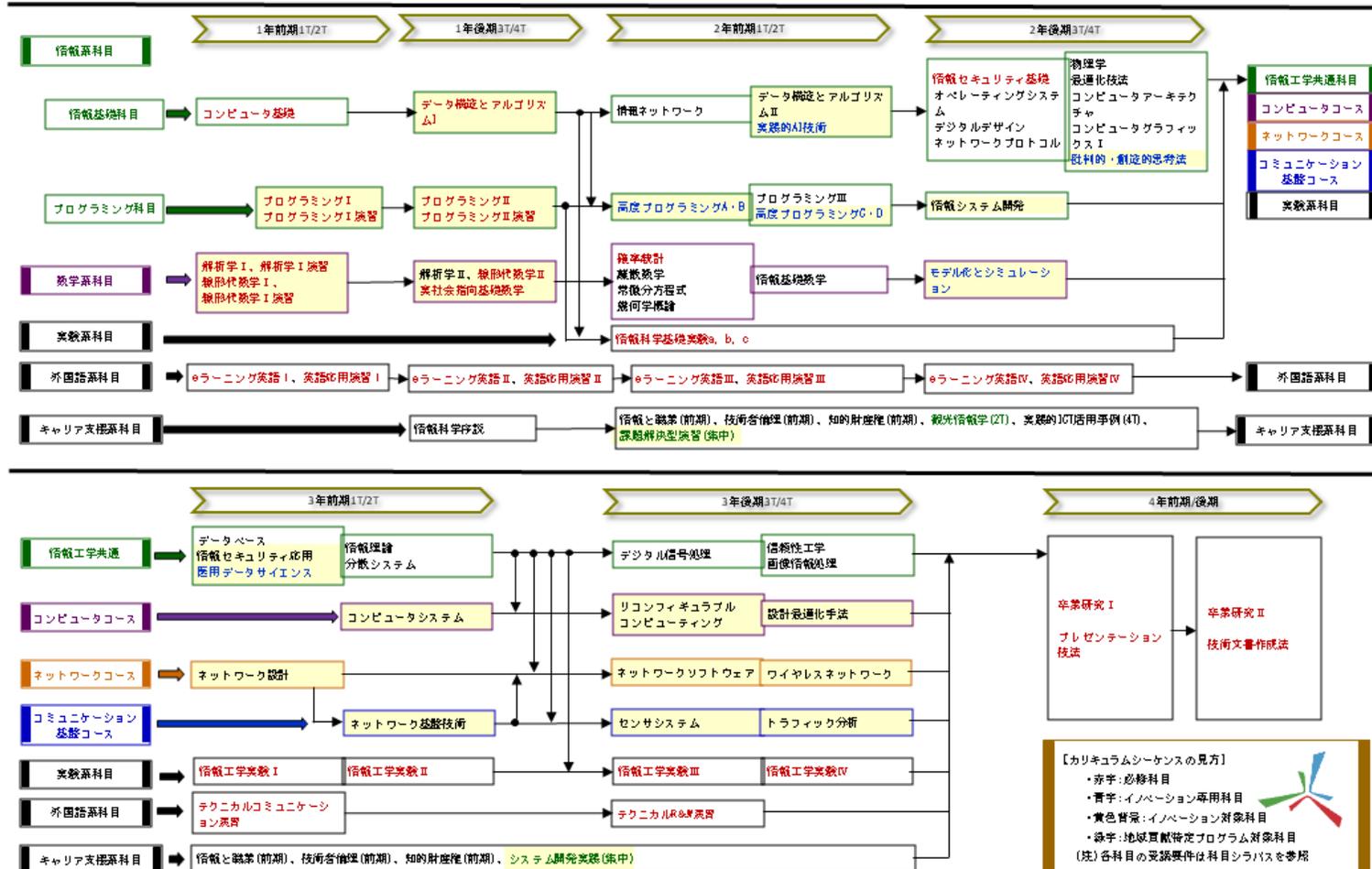
[思考力・判断力・表現力]

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会的諸問題を探求することができる。(思考力)
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。(判断力)
3. 自らの考えを説理的に分かりやすく表現する能力を身に付けている。(表現力)

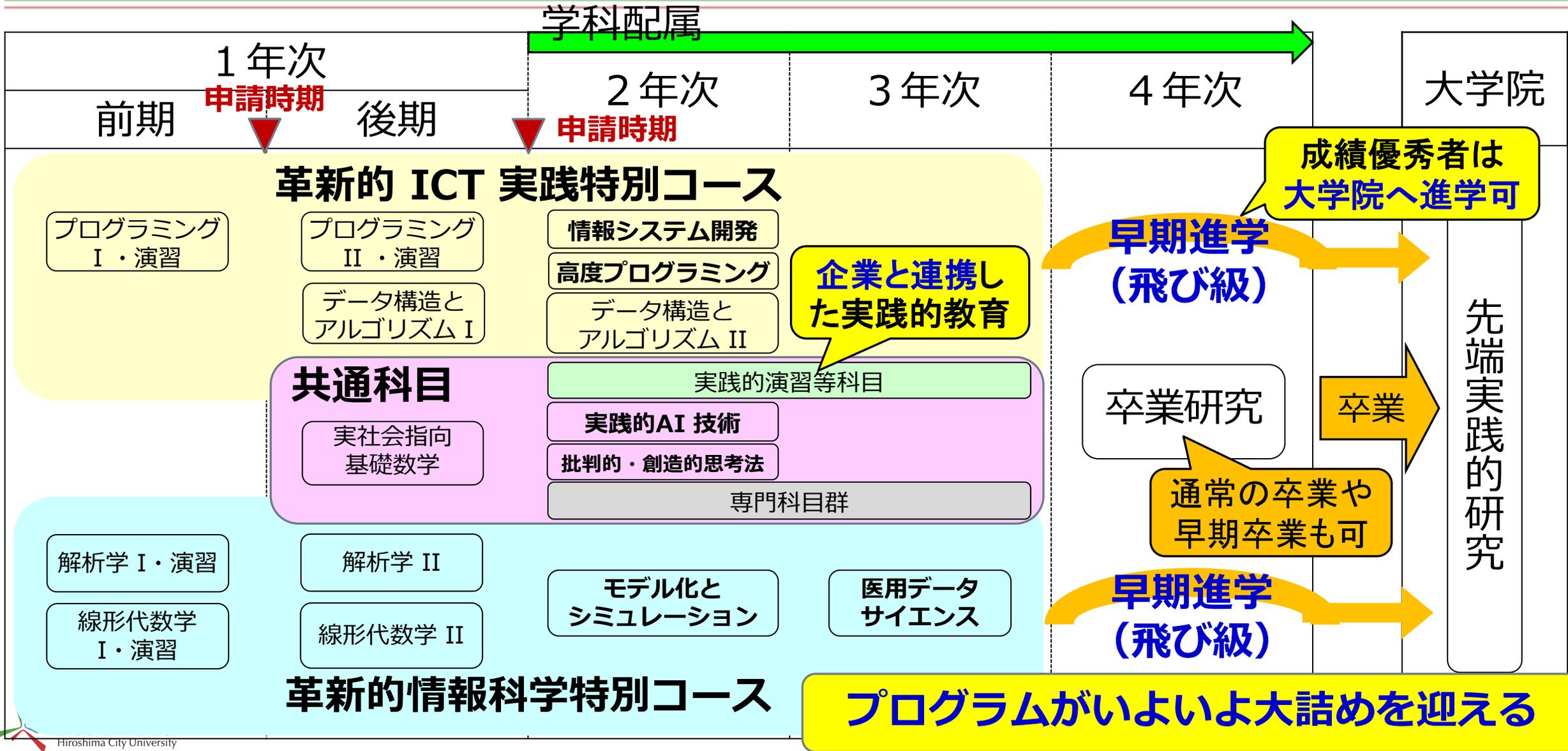
専門教育科目はカリキュラムシーケンスを参考に

学科ごとに用意されているカリキュラムシーケンスを参考に計画的な学習を

情報工学科カリキュラムシーケンス



3. イノベーション人材育成プログラム(概略図)



イノベの専門科目群と実践的演習等科目

専門科目群(学科毎に整備)

情報工学	知能工学	システム	医用情報
情報セキュリティ応用	グラフ理論	確率過程論	バイオインフォマティクス 1, 2
コンピュータシステム	人工知能	数値計算法	量子力学、統計力学
リコンフィギャラブル コンピューティング	感性情報処理	メカトロニクス	医用データサイエンス
設計最適化手法	機械学習	画像情報処理	デジタル信号処理
ネットワーク設計	データマイニング	制御工学1	制御工学
ネットワークソフトウェア	情報検索	ロボティクス1	電気電子計測
ワイヤレスネットワーク	画像情報処理	デジタル無線通信	生体情報工学
ネットワーク基盤技術	自然言語処理	オペレーティング システム	医用情報システム開発
センサシステム	情報理論	パターン認識	医用情報通信工学
トラフィック分析	パターン認識	ヒューマン インタフェース1	医科学概論1, 2

実践的演習等科目

(産学連携教育科目の一部)

- **課題解決型演習 (2年)**
- **システム開発実践 (3年)**

**企業等から提示された課題に
チャレンジする実践的演習**

2つのうちどちらかが必要

- **通常科目と同じもの(一部)**
- **科目シーケンスを参照の上、
計画的に履修**

イノベーション人材育成プログラム修了認定条件

1. **プログラム参加の申請**（**1年後期**または**2年前期**の履修登録時）
2. **共通科目群**の全科目（**6単位**）を修得
3. **数学系科目群**から**14単位** または
プログラミング系科目群から**14単位以上** を修得
4. 自学科の**専門科目群**の中から**6単位以上**を修得
5. **実践的演習**等の科目 **1単位**を修得

合計**27単位以上**
で修了可能

- 通常の科目との重複も多いので、**少しの追加科目の修得で修了可能**
- 意欲があれば誰でもチャレンジ可能（**得意分野の成績が大事**）
- プログラムはいつでも止められる（**チャレンジして失うものは何もない**）

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(1)

早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するためには、出願前に事前審査を受けなければなりません。以下をすべて満たす人にその資格があります。

- ① 2年次までに**全学共通系科目の各区分および外国語系科目**について卒業要件を満たす単位数(合計が33単位以上)を修得していること
- ② 2年次までに開講された**学部の専門教育科目の必修科目**の単位をすべて修得していること
- ③ 3年次までに**修得見込みの単位数**が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること
- ④ **イノベーション人材育成プログラムで優秀な成績を収めていること**
- ⑤ 人物面で優れ、志望する専攻に対する**熱意と適正**を有すると認められること

次ページで
補足

※ これは大学院入試の募集要項に記載される内容です。年度により内容が一部変更になる可能性もありますので、受験年度の募集要項をよく確認してください。

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(2)

前ページ④「イノベで優秀」は、以下をすべて満たす見込みがあるかどうかで評価されます

- a. **大学入学後**(休学期間を除き)**3年間**でイノベ修了見込みであること
- b. イノベ科目(共通科目群, 数学系科目群かプログラム系科目群のどちらか一方, 専門科目群, 実践的演習等科目)のうちで**5科目以上で「秀」**の成績を修めていること
- c. **必修の実験をすべて「優」以上**の成績で修めていること

- 大学院へは推薦入試で (**奨学金の対象**)
- 卒業はしないが**学位の取得は可能** (卒業と同等)

詳しく知りたい人は教務委員に問い合わせてください

NEW

4. 産学連携教育について

2022年度より
スタート

企業と連携した実践的教育で

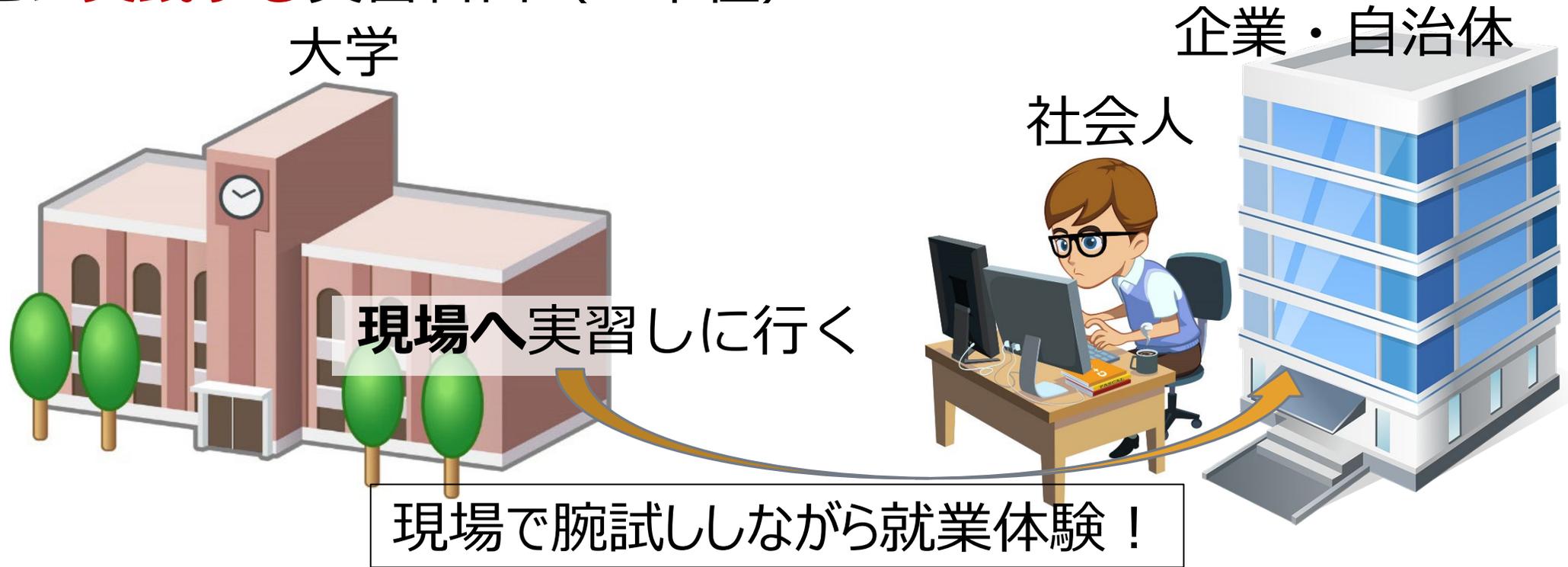
皆さんの意欲向上と将来像の明確化を狙った科目群（3科目）

- **実践的ICT活用事例**（2年後期）：
ICTが社会でどう活用されているかを**知る**科目
- **課題解決型演習**（2年集中）：
地域・企業課題の解決法を検討し学びを**深める**科目
- **システム開発実践**（3年集中）：
学んだ知識・技能を現場で**実践する**科目

学びと社会のつながりを体験できるので是非受講を！！

システム開発実践(3年集中)

皆さんが学んでいる情報科学技術を、実際の開発現場でシステム開発などに**実践する**実習科目(2単位)



受講を希望する場合は、ガイダンス I に必ず出席すること!

ガイダンス I : 4/10 (木) 5限 404講義室

目指せ！ひろしま地域リーダー

地域志向特定プログラム

地域に愛着・誇りを持ち、地域の発展に貢献する人材を育成する**教育プログラム**

地域志向特定プログラム修了 + 地域貢献テーマでの卒業研究

||

ひろしま地域リーダーの称号！

イノベーション人材育成プログラムへの
のちよい足しで同時に取れちゃう？

地域志向特定プログラム修了認定条件

次のAからCを含めて **8単位以上取得** すること

A) 広島・地域志向科目群から4単位以上

うち2単位は卒業要件

B) 「地域課題演習」または「課題解決型演習」から1単位以上

C) 「観光情報学」または「システム開発実践」から2単位以上

下線の2科目はイノベの(選択)必修

イノベ受講者であれば、

- ・ 広島・地域志向科目群から1科目
 - ・ 「地域課題演習」または「観光情報学」の1科目
- の合計2科目の追加で地域志向特定プログラムを修了可！

地元企業と卒業研究で地域リーダーの称号！